



# 本郷の輝き

横浜市立本郷小学校  
学校便り 3月号  
令和2年 2月28日

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

## 有終の美を飾るために

副校長 和田 晋治

3月を迎えると、子どもたちが学校に登校する日数は1～5年生が17日、6年生は14日となります。学校は3月までが1年間の区切りであるため、4月に立てた自分のめあての振り返りを行ったり、学習のまとめをしたりと残りの登校日数が気になる時期となりました。新学期の4月を迎えるために、今年度のまとめをしっかりと行いたいものです。

私事ではありますが、体を動かすことが大好きだったこともあり、剣道や野球、軟式テニス（現在では1992年の全面的ルール改定で正式名称はソフトテニス）など色々な運動を小学生の頃から大学まで続けてきました。大学も卒業を迎えようとしたあるとき、文化部（軽音楽部）に所属している友達の卒業コンサートに花束を持って駆けつけました。そのときに「彼らはいいよな、最後は拍手と花で、有終の美を飾れるのだから」とうらやましく感じました。運動部だった自分の最後は「優勝する以外は負けて」終わりです。有終の美を飾るなんて言葉は、憧れにもならないくらい遠い言葉に思えました。

大学を出て、ふとしたきっかけから都内にある合唱団に入ることになり7年間活動しました。コンクールには出場していませんでしたが、年に一度の定期演奏会をお茶の水の「カザルスホール」（2010年に閉鎖）で行う機会がありました。そのときに、学生の頃に憧れた「拍手と花で、有終の美を飾れる」ことは私の偏見的な見方だったと実感することになりました。演奏中に声がうまく出せなかったり、音程がずれてしまったりして、曲を傷つけてしまうと、取り返しがきかないという厳しさがあったのです。

「有終」の語源を調べると中国の古い詩集「詩経」に出てくる一節がその由来で『初め有らざるはなし、よく終わり有るは鮮（すく）なし』で、意味は＜初めは誰でもやるけれど、最後までやり遂げる人は少ない＞だそうです。それならば、運動でも音楽でも学習においても、立派な成績や結果が伴えばそれに越したことはありませんが、最後までしっかりとやり遂げることに大きな意味があり、そのことこそ有終の美を飾ることにもなるのだと思うようになりました。

4月には6年生は進学、1年生から5年生は進級をします。子どもたち一人ひとりが、自分の立てためあてや学習を**最後までやり遂げ、有終の美を飾れる**ことを願っています。そのために残り少ない日々こそが重要と考え、子どもたちを指導していきます。ご家庭や地域の方々のご協力も引き続き、よろしくお願いいたします。

今年度皆様より賜りました、ご理解とご協力に心より感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

## 5年 わくわくエコスクール (1月28日)

わたしは、わくわくエコスクールで、車も二酸化炭素を減らす工夫をしていると知ってとてもおどろきました。他にも、電気自動車は、車の電気を家でも使えることや、一回の充電で東京から大阪まで行けることを知って、わたしたちのくらしは便利になってきているんだなと思いました。

電気自動車の充電がとても速くてびっくりしました。自動車を駐車させるときに、上から見下ろした映像が出てくるのも分かりやすく、乗る人の気持ちを考えているんだなと思いました。これからも自動車技術がどこまでも発展して行ってほしいです。



わたしが、一番心に残ったのは、モデルカーでの実験です。タイヤが回ることによって発電できる「回生」や、電気自動車にためた電気を使うことによって家の明かりをつけられることにとってもおどろきました。他にも、電気自動車の「リーフ」という名前の理由が、二酸化炭素を吸って酸素をはく葉っぱのような環境にやさしい電気自動車だという思いがこめられていたことにもおどろきました。そして、今回、日産の人たちが環境にやさしい自動車を作るために、リチウムイオンバッテリーを使ったりするなど、たくさんの努力をしていることを知ることができました。

## 4年 「こんな風に成長し ゆめをもったよ！今までありがとうの会」(1月30日)

1月30日(木)の5、6時間目に、体育館で今までお世話になった方へ感謝を伝える会を行いました。会の名前から内容まで、全て子どもたちが話し合っただけで考えました。当日は、成長した姿を歌や呼びかけなどで伝えることができました。会が終わった後の子どもたちの表情は、どこか誇らしげで成長を感じました。

ぼくは、げきでセリフやきやく本を自分たちで考えて、ありがとうを伝えられたところに、自分の成長を感じました。合唱や合そうの後の行動などでも、メリハリをつけて、すばやくきりかえられました。



今までありがとうの会では、お家の人に感しゃの気持ちを伝えました。お家の人に、これからもっとお世話になるから、さらに感しゃの気持ちを伝えたいです。お家の人に、その気持ちが伝わっていたらうれしいです。

わたしは、合唱の「変わらないもの」であなた(お世話になった人)と出会えてよかったということをお伝え、「あなたにありがとう」ではあなたのおかげで楽しく過ごせた、ということをお伝えすることができました。

## 2年 あーすぷらざ見学 (2月13日)



ぼくは、まちたんけんであーすぷらざでむかしのことなどを学びました。ゲルの中に入ったり映画を見たりなどしました。また、あーすぷらざに行きたいです。

ぼくは、まちたんけんで、あーすぷらざに行きました。さいしょ、「スーホの白い馬」にでてくる馬頭さんをひきました。ぼうみみたいなものが、馬のしっぽの毛でできていると聞いて、びっくりしました。

わたしは、外国の家を見ました。日本の家と高さがちがうことを発見しました。あーすぷらざにはいろいろなものがあると思うました。

## 5678組 合同学習発表会 (3月19日)

栄公会堂で、栄区合同学習発表会がありました。本郷小は、劇「おおきないも」を演じました。

### 1年の感想

「セリフをちゃんと言えたのがよかった。」  
「らいねんも、がんばりたい。」  
「うごきやセリフをがんばりました。」

### 2年の感想

「つぎの人をよぶのを、がんばりました。」  
「SLのセリフをがんばりました。」

### 3年の感想

「声を大きくするのをがんばりました。」  
「カシオペアと協力して、がんばりました。」  
「犬やくで、うごきをがんばりました。」

### 4年の感想

「セリフを言うのを、がんばりました。」

### 5年の感想

「他の学校の発表も、とてもすごかったです。」

### 6年の感想

「おおきないものおじいさんを、がんばりました。」

